

緊急時について

- 1 学内にいる時に地震が起きた場合 …… P42
- 2 登下校時に地震が起きた場合 …… P42
- 3 火災が発生した場合 …… P43
- 4 台風が発生・接近した場合 …… P43
- 5 弾道ミサイルが発射された場合 …… P45
- 6 課外活動中に負傷者が出た場合 …… P45
- 7 緊急時の避難場所 …… P46

1 学内にいる時に地震が起きた場合

地震発生時

- ① ドアを開けて避難口を確保する。
- ② 机やテーブルの下に隠れる。または、壁や柱の近くに身を寄せる。
- ③ 落下物・転倒物から身を守るために、持ち物や衣類で頭部を保護する。
- ④ エレベーター内にいる場合、地震感知後、最寄りの階に停止し自動で扉が開くので、速やかにエレベーターから降りる。



まずは冷静に判断し、自分と周囲の人の身の安全を確保し、揺れが収まるのを待ちましょう。

地震沈静後

- ① 実験室・実習室では、すぐに火を消してガス栓を閉じ、電気器具の電源を切る。
- ② 慌てて出口や階段に殺到せず、順序良く避難する。
- ③ 身障者や負傷者、大きなショックを受けている人を助ける。
- ④ 逃げ遅れた人や行方不明者がいる時は、教職員に知らせる。
- ⑤ 火災が発生した場合は、大声で教職員に知らせるか、火災報知器を使用する。
- ⑥ 全員が脱出した部屋はドアを開けたままにする。ただし火災が発生している場合は、延焼防止のためドアを閉める。

余震が起こる可能性があるため、頭部を保護し、速やかに避難しましょう。



非常口と消火栓



AED

2 登下校時に地震が起きた場合

地震発生時

- ① 持ち物や衣類で頭部を保護する。
- ② 古い建物や狭い路地、堀のそば、崖、川べり、海岸には近づかない。
- ③ 路上にいる時は、落下物や転倒物、地面の隆起・陥没・亀裂などに注意する。
- ④ 地下にいる時は、火災やガス漏れ、漏水、停電などに注意する。
- ⑤ 交通機関を利用している時は、急ブレーキや衝突、脱線、転覆、運行不能などに注意する。



慌てず冷静に危険な場所を回避しながら身の安全を確保し、揺れが収まるのを待ちましょう。

地震沈静後

- ① 家族や友人に無事であると連絡すること。
- ② 無事に帰宅した場合は、できるだけ早く大学に連絡をいれること。
- ③ 帰宅が不可能な場合は、大学に戻ることに。
- ④ デマに惑わされず、テレビやラジオ放送、警察署・消防署・市町村などの正確な情報を得ること。



落ち着いてできる限り自分の安全を家族や友人に知らせましょう。

3 火災が発生した場合

1 通報

迅速に周りに知らせることが大切。

- ①大声で周囲に知らせる。
- ②教職員に知らせる。
- ③火災報知器を使用する。



消火器

2 初期消火

炎が天井にまで届かないような段階では、次の方法で消火しましょう。

- ①バケツによる水かけ。
- ②消火器の使用。
- ③消火栓の使用。



火災報知器と消火栓

3 避難

炎が大きく消火不可能な時は無理をせず避難しましょう。

- ①エレベーターは使用しない。
- ②低い姿勢で、濡れタオルやハンカチを口に当て、煙を吸わないようにする。
- ③逃げ遅れた人や行方不明者がいる時は、直ちに教職員に報告する。
- ④延焼を抑えるため、ドアや窓は閉める。
- ⑤一度避難したら、絶対に中には戻らない。

4 台風が発生・接近した場合

台風が来る前に

- ①屋外の飛ばされそうな物を補強・固定するか、屋内に入れる。
- ②養生テープなどを用い、窓ガラスに飛散対策をする。
- ③電化製品や日用品を高所へ移動させる。
- ④水、非常食、懐中電灯等の準備をしておく。

台風が接近してきたら

- ①最新情報をチェックする (Twitterなどでのデマに惑わされないように注意)

国土交通省 ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



- ②いつでも避難できるように準備をしておく。
- ③最寄りの避難場所を確認しておく。

台風は非常に危険です。風速によっては1t以上あるトラックが倒される場合や、看板やトタンの屋根が飛んでくる可能性も十分にありえます。不用意な外出は避けましょう。自身の身を守ることが第一です。



令和元年台風19号による郡山市浸水区域図

郡山市ホームページ掲載
「台風19号による浸水区域」参考



郡山市発行の「**浸水ハザードマップ**」もあわせてご覧ください。

https://www.city.koriyama.lg.jp/bosai_bohan_safecommunity/bosai/7/10325.html



5 弾道ミサイルが発射された場合

弾道ミサイルが北朝鮮から発射された場合、わずか10分もしないで到着する可能性があります。国からの緊急情報「Jアラート」を携帯電話等で受信した場合は、落ち着いて避難しましょう。

Jアラートが流れたら

- ・屋外にいる場合は、近くの建物の中か地下に避難する。
頑丈な建物が望ましいですが、近くになればそれ以外の建物でも構いません。
- ・建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ・屋内にいる場合は、窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くにミサイルが落下したら

屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

6 課外活動中に負傷者が出た場合

- ① 傷病者の意識、顔色、呼吸、脈拍を確認する。
- ② 119番に通報し、救急車を要請する。
- ③ 可能な場合、傷病者の家族に連絡する。

※状況に応じて優先順位を判断する。



消防からの問い合わせ	通報者の通報
「火事ですか、救急ですか」	「 救急です 」
「市町村、何町、何丁目、何番、何号ですか」	救急車に来てほしい場所を伝える。 ※所在地、建物名、階層などを正確に、できるだけ詳しく説明する。
「どうしましたか」	簡潔に、事故の状況や見たままの傷病者の状態を説明する。 ※傷病者が複数いる場合には、その人数を告げる。 ※もし可能ならば、傷病者の氏名(漢字と読み方)、生年月日、住所、電話番号、家族への連絡先、既往症、服用薬、アレルギー、掛け付けの病院、怪我ならば受傷状況、病気になるばいつから、何をしていた時に始まったかなどを聴取し、メモを取り、救急隊に渡す。
「電話番号を教えてください」	通報に用いている電話番号と通報者名を答える。 ※場所が不明な時などに問い合わせることがある。
「はい、わかりました」	

学内、学外に限らず、必ず大学の学生課・学事課に連絡する。負傷者の救済を第一に考えて対応すること。

7 緊急時の避難場所



基礎医学研究棟、動物実験研究棟



①テニスコート

記念講堂、第3講義棟、中央棟、体育館、薬学部棟、
薬学実習棟、学生食堂「ハーモニー」、薬学部自習室、第2講義棟



②薬用植物園

附属病院棟、講義棟



③附属病院患者駐車場

○連絡先 Tel 024-932-9099 (歯学部 学事部)

○連絡先 Tel 024-932-8995 (薬学部 学事部)